



## 第3回常任理事会

**日時** 平成28年5月10日(火) 18:00～18:44  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・林・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事  
(事務局：中村次長ほか14名)

### 協議事項

#### 第1号 日本医師会代議員会財務委員会委員および議事運営委員会委員の選出に関する件

(三戸常任理事)

引き続き、財務委員会委員には藤原秀俊日医代議員(当会副会長)を、議事運営委員会委員には深澤雅則日医代議員(当会副会長)を推薦することと決定。

#### 第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座19件、道医認定生涯教育講座25件、合計44件を承認。

### 報告事項

#### 1. 第18回日本医療マネジメント学会学術総会 [4月22日(金)～23日(土)・福岡市]について

(水谷常任理事)

飯塚病院・田中名誉院長が学会長となり、福岡市において開催された。「明るい病院改革～改善とイノベーションで切り拓く明日の最適医療～」をメインテーマに基調講演、会長講演および10の講演、さらに13のシンポジウム等が行われ、一般演題1,121題(口演783題、ポスター328題、クリティカルパス10題)が発表された。参加者は約3,800名であった。来年は仙台市で開催される。

#### 2. 北海道がんサミット第1回実行委員会 [4月27日(水)]について(伊藤常任理事)

北海道がんサミット [7月24日(日)]の開催に向け、メインテーマ、広報活動などの具体的な検討を行った。

### 3. 外部各委員会報告

#### (1) 医療と介護の連携の推進に向けた意見交換会 専門部会 [4月28日(木)]について(藤原副会長)

本専門部会は、今年1月に開催された医療と介護の連携の推進に向けた意見交換会での個別課題の議論を深めるために設置されたものであり、小職が部会長として指名され、11関係団体から構成されている。はじめに、北海道から道内の人口推計や医療・介護需要予測、介護保険法に基づく地域支援事業の実施状況、在宅医療多職種連携協議会の設置状況等の説明があり、地域包括ケアシステム構築に向けた現状と課題に関して議論した。小職からは、地域支援事業が実施できない地域への対応を明確にすべきであること等を指摘したほか、部会員からは、広域連携の推進や、人材の不足する地域にはICT整備が必要などの意見があった。今後は、本専門部会での意見を整理し、取り組みを進め、今夏頃までに市町村への支援策をまとめる予定となっている。

### 4. 各部報告

#### (1) 当会の医療事故調査等相談窓口対応状況について(水谷常任理事)

4月12日から5月9日までに、当会相談窓口において当番の役員が直接対応した案件が無かったことを報告した。

#### (2) 「平成28年熊本地震」第1回北海道医師会災害対策本部会議 [4月25日(月)]以降の対応状況について(第2回北海道医師会災害対策本部会議)(目黒常任理事)

5月2日(月)に、『平成28年熊本地震』に関するJMAT北海道情報交換会(第1回)を開催し、現地の状況や実際の活動内容について報告および質疑応答を行い、オール北海道として被災地支援にあたることを確認した。また、日本医師会等からの情報をもとにこれまでの経過について概要を説明し、引き続き関係各機関と調整を図りながら、適切なチーム派遣体制を維持することとなった。

### 5. その他

#### (1) 第147回定時代議員会「当面の医療政策に関する件」について(笹本常任理事)

小職より、6月19日(日)開催の第147回定時代議員会「当面の医療政策に関する件」のテーマ提出についてお願いした。

#### (2) 当会代議員会「決議」について(笹本常任理事)

代議員会「決議」については、平成25年度の医療政策部担当事業、常任理事会、理事会、代議員会議事運営委員会において定時代議員会(毎年6月)1回のみにて採択することを決定しており、本年は6月19日開催の定時代議員会を予定している。しかしながら、役員改選期(2

年ごと)の定時代議員会は役員改選が行われることとなり、翌日の臨時時代議員会で決議を採択するためには、新しい執行部では十分な議論を行うことが難しくなることから、来年3月の臨時時代議員会から「毎年3月開催の臨時時代議員会に変更する」という案を説明し、了承を得た。今後、理事会ならびに議事運営委員会へ提案する予定。

#### 道総医協関連事項(深澤副会長)

##### 1. 運営委員会[5月9日(月)]について

(深澤副会長)

平成27年度各専門委員会の協議状況の報告および28年度協議予定(案)、第51回総会、各専門委員会の開催などについて協議し、了承された。

## 第4回常任理事会

**日時** 平成28年5月16日(月) 18:00～19:00  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・林・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事  
(事務局:安達局長ほか14名)

#### 協議事項

##### 第1号 平成27年度決算に関する件(北野常任理事)

平成27年度会計に関する決算財務諸表・内部管理資料等の理事者説明と、併せて内部・外部監査報告を監事より受けたのち、提案どおり承認することと決定。

##### 第2号 平成27年度公益目的支出計画実施報告書に関する件(三戸常任理事)

本会は一般社団への移行法人として、北海道公益認定等審議会が確定した本会の公益目的財産額の支出が完了するまでは各事業年度の決算時に公益目的支出計画実施報告書を作成し北海道に提出する必要がある。平成27年度の実施報告書の説明を受けたのち、提案どおり承認することと決定。

##### 第3号 平成28年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件(北野常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員12名の給与・期末手当を、その業務人工で按分し、当会の税務上の損金と認めてもらうため、税務署に対し「事前確定給与に関する届出書」を提出することと決定。

##### 第4号 第147回定時代議員会[6月19日(日)]の開催に関する件(三戸常任理事)

北海道医師会館8階会議室において、6月19日(日)午前10時から第147回定時代議員会を開催すること、それぞれの提出議題を決定。また、従来、3月の臨時時代議員会において報告として行っている

「事業中間報告」「会計報告」については、6月の定時代議員会にて1年間を通し同様の報告が行われるため、重複するところも多いことから、来年3月の臨時時代議員会より取りやめる方向で諮ることとなった。

##### 第5号 第2回理事会[5月21日(土)]の議案に関する件(三戸常任理事)

5月21日(土)午後4時から北海道医師会館において、第2回理事会を開催すること、またその提出議題を決定。

##### 第6号 その他

###### (1) 医師資格証の普及促進について

(三戸常任理事)

普及促進の具体的方策として、北海道医師会役員全員が医師資格証を持つよう薦めることと決定。

#### 報告事項

##### 1. 監査報告(内部:津田監事、外部:藤瀬監事)

協議事項第1号と併せて報告。

## 第2回理事会

**日時** 平成28年5月21日(土) 16:00～17:46  
**場所** 北海道医師会 9階「理事会室」  
**出席者** 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・橋本・水谷・伊藤・後藤・林・笹本各常任理事、松家・佐藤・恩村・阿久津・沖・山下・稲葉各理事、津田・藤瀬両監事、宮本参与

(事務局:安達事務局長ほか15名)

##### 1. 開 会

##### 2. 会長挨拶

##### 3. 報告事項

(1) 監査報告(内部:津田監事、外部:藤瀬監事)  
協議事項1にて併せて報告。

##### (2) 日医理事会報告(長瀬会長)

日本医師会役員および裁定委員の選任・選定に関する公示の件等が報告され、平成27年度日本医師会事業報告、決算の件等が協議された。詳細については日医ニュース等を参照されたい。また、事前の理事打合せにおいて、臨床研究法案について、日医かかりつけ医機能研修制度における応用研修への対応について、内視鏡検診・健診の実態アンケート調査についての意見交換を行った。

##### (3) 日医各委員会報告

###### 1) 財務委員会[5月6日(金)]について

(藤原副会長)

第137回日医定例代議員会に提案される決算のうち「医師年金を除く貸借対照表」の資産合計、負債合計、正味財産合計の決算額に

について報告した。次に「医師年金の貸借対照表」では、正味財産が減少していることから「日本医師年金の運営」について安定した制度運営を継続する方策として、医師年金のメリットを十分周知し、新規加入者1,000人を目指すとの報告がされた。

#### (4) その他

##### 1) 「平成28年熊本地震」への対応について

(目黒常任理事)

「平成28年熊本地震」に関し、北海道医師会災害対策本部の設置やJMAT北海道の派遣状況など当会におけるこれまでの対応について報告した。引き続き情報収集に努め、関係機関との調整を図りながらオール北海道として被災地支援にあたることを確認した。

##### 2) 当会代議員会「決議」について

(笹本常任理事)

代議員会「決議」は、定時代議員会(毎年6月)1回のみにて採択することを決定しており、本年は6月19日開催の定時代議員会を予定している。しかしながら、役員改選期(2年ごと)の定時代議員会は役員の改選が行われることとなり、翌日の臨時代議員会で決議を採択するためには、新しい執行部では十分な議論を行うことが難しくなることから、来年3月の臨時代議員会から「毎年3月開催の臨時代議員会に変更する」という案を説明し、了承を得た。今後、直近の議事運営委員会へ提案する予定。

##### 3) 医師資格証の普及促進について

(三戸常任理事)

普及促進の具体的方策として、北海道医師会役員全員が医師資格証を持つよう薦めることと決定されたのを受け、必要書類や具体的な申請方法が説明された。役員分の送付は北海道医師会事務局が一括して代行発送することとした。

#### 4. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「経済財政運営と改革の基本方針2016の骨子について」

経済財政諮問会議(議長・安倍晋三首相)に示された「経済財政運営と改革の基本方針2016」(骨太方針)の素案、「経済・財政再生計画改革工程表」の社会保障分野の項目などの概要について説明した。

#### 5. 承認事項

##### (1) 外部各委員会等委員の推薦について

(三戸常任理事)

北海道教育庁所管の平成28年度全国学校保健・安全研究大会実行委員会委員に長瀬会長を推薦したことを承認決定。

#### 6. 協議事項

##### 第1号 平成27年度決算に関する件(北野常任理事)

平成27年度会計について、決算財務諸表等ならびに内部管理資料を慎重に審議した結果、27年度決算を提案どおり承認し、6月19日(日)に開催する第147回定時代議員会に上程することと決定。

##### 第2号 平成27年度公益目的支出計画実施報告書に関する件(三戸常任理事)

当会の一般社団法人移行に伴い、毎年北海道に対し公益目的支出計画実施報告を提出することになっているが、27年度の実施報告書は提案どおり承認することと決定。

##### 第3号 平成28年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件(北野常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員12名の給与・期末手当を、その業務人工で按分し、当会の税務上の損金と認めてもらうため、税務署に対し「事前確定給与に関する届出書」を提出することと決定。

##### 第4号 日本医師会代議員会財務委員会委員および議事運営委員会委員の選出に関する件

(三戸常任理事)

引き続き、財務委員会委員には藤原秀俊日医代議員(当会副会長)を、議事運営委員会委員には深澤雅則日医代議員(当会副会長)を推薦することと決定。

##### 第5号 第147回定時代議員会〔6月19日(日)〕の開催に関する件(三戸常任理事)

6月19日(日)午前10時から当会館8階会議室において、第147回定時代議員会を開催すること、またその提出議題を決定。また、従来、3月の臨時代議員会において報告として行っている「事業中間報告」「会計報告」については、6月の定時代議員会にて1年間を通し同様の報告が行われるため、重複するところも多いことから、来年3月の臨時代議員会より取りやめる方向となった。

##### 第6号 理事提案事項

特になし。

##### 第7号 その他

特になし。

##### 7. 道総医協関連事項(深澤副会長)

4月16日開催の第1回理事会報告分以降の会議について報告した。

##### 8. 閉会

## 第5回常任理事会

日時 平成28年5月24日(火) 18:30～19:47  
場所 北海道医師会館9階・理事会室  
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・林・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事  
(事務局：安達局長ほか12名)

## 協議事項

### 第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件

(三戸常任理事)

新規申請者1名・再審申請者2名の計3名を指定医師とすることと決定。

### 第2号 社会保険診療報酬支払基金審査委員会委員の補充推薦に関する件(橋本常任理事)

保険医代表委員2名の辞任に伴い、推薦母体である北海道眼科医会ならびに札幌市医師会に対し後任委員の推薦依頼を行うことと決定。

### 第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座68件・道医認定生涯教育講座43件の計111件を承認。

### 第4号 第1回郡市医師会長協議会 [5月28日(土)]の議題に関する件(三戸常任理事)

5月28日(土)午後4時から当会館において開催する、第1回郡市医師会長協議会の提出議題を決定。

### 第5号 その他

(1) 6月行事予定表に関する件(事務局)

## 報告事項

### 1. 緊急臨時的医師派遣事業 第2回運営委員会 [5月12日(木)]について(深澤副会長)

5月分以降の地域センター病院等以外に関する新規派遣4件、派遣回数増1件の合計5件について内容を精査し、派遣することを決定した。

### 2. 第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会 [5月12日(木)・郡山市]について

(目黒常任理事)

第1部では、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会の坂本委員長から「蘇生ガイドライン2015の推奨に基づく救急業務とメディカルコントロール体制」、全国保健所長会の宇田会長から「メディカルコントロール体制における保健所が果たせる役割と現在の取り組み」、第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会の田勢副会長から「福島県におけるメディカルコントロール(MC)体制の現状」以上3題の発表があった。続いて第2部では「都道府県におけるMCに係る医師の教育、スキルアップに関する情報共有」をテーマに3名の地域代表者(愛知県・島根県・兵庫県)によるシンポジウムが行われた。参加者は550名であった。

### 3. 第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会 [5月12日(木)～14日(土)・郡山市]について

(目黒常任理事)

福島県医師会・高谷会長が大会長となり「救急医療とMass gathering medicine」をメインテーマに開催された。会長講演のほか、特別講演2題、教育講演12題、基調講演3題、国際シンポジウム2題、合同企画4題、シンポジウム7題、パネルディスカッション19題、ワークショップ3題、一般演題が行われ、参加者は約3,000名であった。特別講演

2では、日本医師会・横倉会長より「地域における救急医療」と題した講演が行われ、当会と北海道航空医療ネットワーク研究会(HAMN)が早期本格運航を目指して積極的に活動をしているメディカルウイング(医療優先固定翼機)についての紹介があった。次回は来年5月26日(金)～28日(日)、帝京大学医学部救急医学講座・坂本主任教授が大会長となり、東京ビッグサイトで開催予定。

### 4. 災害医療シンポジウム～2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて～ [5月15日(日)・東京都]について(目黒常任理事)

日本医師会の主催により「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて」と題して開催された。日医・石井常任理事の司会により開会し、ノースウェスタン大学・T.チャンパス助教授より「マシガザリングイベントと危機管理」と題して、シカゴマラソンにおける危機管理体制を中心に講演が行われた。続いて、帝京大学医学部附属病院・坂本病院長、東京DMAT運営協議会・山口会長、厚生労働省大臣官房・鈴木技術総括審議官、九州大学大学院・永田助教からそれぞれ発言が行われた後、演者5名による活発なディスカッションが交わされた。

### 5. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 [5月20日(金)]について(藤井常任理事)

全国医師会勤務医部会連絡協議会について、昨年度担当の秋田県医師会の実施報告と、本年度担当の大阪府医師会から挨拶があった。また、日本医師会・笠井常任理事から、来年度は当会の担当で開催予定との報告があった。協議では「医療事故調査制度、勤務医の意見等を吸い上げるためのフレームワーク」をテーマに、日医医療安全対策委員会・上野副委員長から、本年1月から3月にかけて全国で開催した医療事故調査制度に関する研修会で寄せられた意見を踏まえて話題提供があり、ディスカッションが行われた。続いて、勤務医の意見等を吸い上げるためのフレームワークの取り組みについて、中部医師会連合・勤務医特別委員会の先行事例報告が、富山県医師会泉副会長よりあった。参加者は100名であった。

### 6. [北海道主催]地域医療シンポジウム [5月22日(日)]について(小熊副会長)

「北海道の地域医療の未来を考えるー地域医療構想の策定に向けてー」をテーマに、地域住民および各種団体を対象として開催された。保健福祉部地域医療推進局・大竹地域医療構想担当局長より、北海道の地域医療の現状と地域医療構想の策定について説明があった。引き続き、医師会・病院経営者・総合診療医・自治体を代表として4名のシンポジストから発言があり、総合討論が行われた。小職からは、医師会の立場から北海道の医療を取り巻く状況と今後の方向性などについて説明した。参加者は約280名であった。

## 7. 日医かかりつけ医機能研修制度 平成28年度応用研修会 [5月22日(日)]について (櫻井常任理事)

今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼されるかかりつけ医機能のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための新たな研修制度として、本年4月より開始した日医かかりつけ医機能研修制度の第1回目の応用研修会が5月22日に開催され、小職が受講した。受講者は、日医会館では約260名で、都道府県医師会のTV会議システム利用では約6,200名、そのうち当会館では104名であった。本研修会の結びに、本件担当の日本医師会・鈴木常任理事より、今後は都道府県医師会において、日医作成の講義要項(シラバス)により同様の応用研修会を実施していただきたいとの要請があった。当会学術部では、当初より年度内に応用研修会を開催することを予定していたが、当会館の受講申込が定員を大幅に上回りキャンセルを余儀なくされたことも併せて考慮し、日医から開催要項等を受理して、年度内の開催に向けて準備を進めることとしている。

## 8. 外部各委員会報告

### (1) 薬物乱用防止対策北海道推進本部会議 [5月12日(木)]について (長瀬会長)

本会議に参画する22関係機関の薬物乱用防止対策関連事業の昨年度実施状況および本年度実施計画について報告があった後、北海道保健福祉部より平成28年度薬物乱用防止対策実施要綱(案)等の説明があり、提案どおり了承した。

### (2) 北海道たばこ対策連絡協議会 [5月13日(金)]について (長瀬会長)

本協議会に参画している10団体からたばこ対策の取り組み状況について報告があった後、北海道健康づくり財団より今年28日(土)午後3時からロイトン札幌で開催される、第13回北海道禁煙フォーラムの案内と各団体に対し参加と協力を求めた。

### (3) 第1回道央ドクターヘリ運航調整委員会 [5月19日(木)]について (目黒常任理事)

昨年度に引き続き、小職が委員長に、成松委員(札幌医科大学救急医学講座教授)が副委員長に選任された。本委員会では、昨年度の運航実績や重点取り組み課題について報告が行われた後、ドクターヘリ出動データ統計記録用紙の一部改訂やラピッドレスポンスカーの運行拡大など、今後の取り組みについて協議が行われた。

### (4) 第4回新・北海道病院事業改革プラン改定検討会議 [5月20日(金)]について (小熊副会長)

子ども総合医療・療育センターの役割・あり方、当該センターの設立経緯と必要とされる機能、運営体制、患者の状況等について報告があった後、協議を行った。今後の目指すべき方向として、ハイリスク出産に対応するために産科医を確保すること、経営面で採算のとれるNICUを増床し機能を充実させること、医師のモチベーションを上げるため、専門性の高い技術が適切に評価される仕組みをつくることなどの意見が出された。

# お知らせ

## 特定健康診査受診券(全国健康保険協会)に係る対応について

### ◇地域保健部◇

全国健康保険協会が本年4月初旬より被扶養者に発送した特定健康診査受診券に記載されている二次元バーコードを読み込んだ際に、文字化けあるいは一部項目の非表示といった事象が報告されております。

特定健診集合契約参加医療機関において、そのような事象が発生した場合には、受診券に表示されている情報を基に修正くださいますようお願いいたします。